

さめがわ

10

October 2014

第726号
平成26年10月1日発行
(毎月1日発行)

[広報]

Public Relations SAMEGAWA

つながる オレンジ リングの 輪

特集

85歳以上の4人に1人が症状があるといわれている認知症。身近な物事として考えなければいけません。

今月号では、認知症を理解し、認知症になっても安心して生活できる地域をつくるために一人一人ができることを考えましょう。

できていたことが
できなくなったら要注意

認知症とは、さまざまな原因で脳の神経細胞が死んでしまったり、働きが悪くなることで、記憶・判断力の障害などが起こる状態をいいます。認知症を引き起こす原因として最も多いのは、脳の神経細胞が死んでいく変性疾患で、「アルツハイマー病」などが当てはまります。そのほか、脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患、腫瘍や感染症などがあります。

認知症の兆候は、同じことを何回もやったり言ったりする、物の名前が出てこない、置き忘れ・しまい忘れ、今までできていたことができなくなるなどがあります。また、時間や場所の感覚がいまいになり本人が戸惑い、不安を抱くようになります。

認知症による「もの忘れ」は、加齢による「もの忘れ」と異なり、起こった物事自体を忘れてしまします。例えばヒントを与えられたとしても、その物事を思い出すことができない状態です。

時間の経過とともに 変化していく症状

脳の細胞が壊れることで直接起こる中核症状は、もの忘れなどの記憶

障害、日時・場所・季節の感覚が薄れる見当識障害が表れ、症状は時間の経過とともに変化していきます。

約束の時間や自宅の場所が分からなくなったり、進行すると家族も認識できなくなります。また、考えるスピードが遅くなったり、2つ以上のことを対処することが困難になります。さらに、計画を立てて臨機応変に行動することが苦手になり、日常生活がうまく進まなくなります。

本人の性格や心理状況、環境などによって起こる周辺症状は、全ての認知症の方に当てはまるわけではありませんが、うつ状態や徘徊、幻覚、妄想などの症状が表れる場合があります。

認知症の方はできないことが増えていきますが、全てのことができなくなるわけではありません。家族や周囲の人が理解し、できない部分を手伝い、今まで通り人として大切にされることで心豊かに生活することができます。



地域包括支援センター
保健師・社会福祉士
鈴木芳子さん



オレンジリングとは…

認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守り支援する応援者の印です。「認知症サポーター養成講座」の受講者に渡されます。

Step 1 認知症を知る

正しく理解し、認知症の方や その家族の心に寄り添う

「認知症」という言葉は世間一般に浸透していますが、その原因や症状はさまざまです。専門スタッフ、介護家族の声を聞き、理解を深めましょう。

「お袋が認知症かもしれない」と思ったきっかけは、昨年7月に母親がガンの摘出手術のために入院したときでした。病室に置いてあるはずの金がなくなったと言い出したのです。私は「金がなくなるはずがないし、おかしいな」と思いました。また、手術によってストーマ（人工肛門）になりストーマ装具をつけて排泄の管理をすることになりましたが、何回教えても操作を覚えられませんでした。そして、今年1月に「アルツハイマー型認知症」と診断されました。

認知症の症状に気づいてから約1年、母親の症状は少しずつ進行してきました。怒りっぽい、服の着方が分からない、使用済みの尿とりパッドを隠すなど、最近では日にちの感覚がなくなってきました。一番つらかったのは、入浴しているときにストーマ装具を取ってしまい、排泄物をまき散らしてしまったときです。「きちんと風呂に入れよう」と思った矢先の出来事で、本当に参りました。現在でもストーマ装具の操作は覚えられず、「ストーマはパンツの中に入れてくれ」

と何回言ってもだめです。足腰は丈夫なので昔からやっている農作業などはできますが、新しいことが覚えられません。

そんな中、地域包括支援センターのスタッフの方から「ほどこだよ」という言葉をかけられ、肩の荷が下りた気がしました。また、別のスタッフの方には、「怒らないでね。我慢してください。優しくしてね」と声をかけられます。この言葉も心に響きました。いざというときに頼れる場所があることは、大きな支えになっています。

怒りたい気持ちを我慢して、相手の気持ちになって優しく接するように心がけていますが、たまに感情が抑えられず怒ってしまうことがあります。でも、それも仕方ないことです。私自身も母親も完璧にできなくていいんです。認知症の介護をはじめて約1年、いまだに葛藤はありますが、吹っ切れてきました。

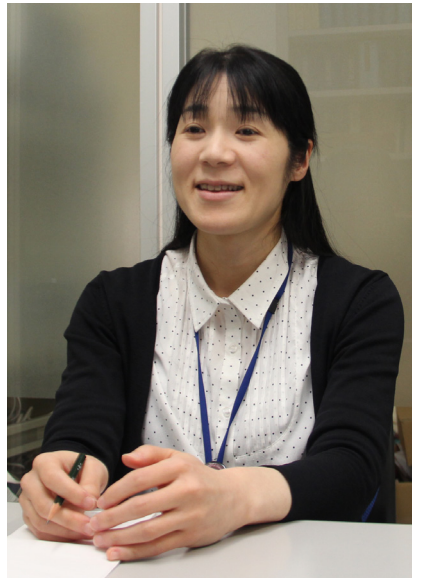
最近では、傾聴ボランティア「みみの会」に参加させてもらっています。お世話になっている分、少しでも地域に貢献したいと思っています。

私も母親も完璧にできなくていい



蛭田一雄さん（関口・63）

定年退職を機に、平成23年4月に鮫川村の実家を継ぐ。昨年7月からは母・シンさん（86）を介護し、ひだまり荘のデイサービスとショートステイを利用して介護とプライベートのバランスをとっている。農繁期には、シンさんと一緒に農作業に励む。



村住民福祉課健康係
蛭田みゆき 保健師

体と脳を健康に保ち 友人と楽しく過ごすこと

認知症の最も大きな要因は加齢ですが、予防できないわけではありません。認知症の原因となる病気にはさまざまな種類がありますが、多くの場合は脳の神経細胞が少しずつ死んでいくアルツハイマー病や脳梗塞などの脳血管疾患です。つまり、脳や脳の血管を傷つけないことが認知症になるリスクを減らすことにつながると考えられます。脳血管疾患を例にあげると、脳の血管が詰まったり切れたりすることを防ぐということとです。健診結果で血管が詰まりやすい切れやすいと診断された方は、認知症になるリスクが高いということになり、注意しなければいけません。そのほか、認知症になった方の

原因を調査すると糖尿病を患っていた方の割合が高いことが分かっています。生活習慣病を予防することが認知症の予防法の一つといえます。体と脳を健康に保つためには適度な運動と自分に合った食事が重要です。具体的に、ウォーキングなどの有酸素運動をすることで脳に酸素を取り入れ、脳の血管を酸化させないことや自分に合ったバランス・量の食事を把握すること、酸化を防ぐポリフェノールを多く含んだ食材を適度に食べるなどが良いとされています。「自分はまだ大丈夫だろう」と思わず、今から習慣化させることで認知症になるリスクを減らすことができます。

また、脳を活性化させることも予防法の一つで、楽しみを持ったり人と交流することが効果的です。趣味

活動などを通して友人と楽しく過ごすことを心がけてください。

行政や地域で取り組む 認知症・介護予防

村は、認知症予防を目的とした「脳いきいき教室」を平成25年度まで実施してきました。ウォーキングを基本に、記録をつけたり計画を立てたり、活動全体を通して脳を使うプログラムです。また、ウォーキングの習慣化を目指し、一部の卒業生たちは自主活動団体をつくり、ウォーキングを継続しています。このほか、認知症予防の要素が含まれた活動として、筋力づくり教室や地域サロン、行政区ごとの高齢者支援事業があります。

また、平成18年度から、将来的に介護が必要になる可能性が高い方を対象とした「二次予防事業」を行っています。認知症を含めた介護予防に効果があるといわれている運動や栄養、口腔などの機能向上を集中的に取り組んでいます。

変化に気づいたら 抱えこまずに相談を

認知症は一部を除いて完治することはありません。薬や適切な対処法によって症状を抑えたり、進行を遅らせる治療が主流です。

しかし、完治しないからといって放置してはいけません。認知症は難しい病気ですが、決して特別なものではありません。病気が治らないときは病院に行くのは自然なことです。認知症もほかの病気と同じようにとらえ、悪化しないうちに病院へ行き、医師の診断を受けて適切な治療を受けましょう。早期発見と早期治療が重要です。

「認知症かもしれない」と思ったときは、役場住民福祉課や地域包括支援センター、医療機関などに相談してください。「おかしいな」「認知症かもしれない」と変化に気づいても、家族としては「専門機関に相談するほどではない」「認知症になるわけがない」と戸惑ったり否定する気持ちもあると思います。そのときは、専門機関でなくてもかまいません。話せる人に相談をしてください。

また、認知症のことを知られたくないと誰にも相談できず、抱え込んでしまう人もいます。抱え込まずに、本人にとつても、その家族にとつてもつらい状態が悪化するばかりです。適切な治療を受け、周囲の人や福祉サービスなどの支援を受けることで、お互いが少ないストレスで生活することができます。まずは抱え込まずに声に出すことが大切です。

Step 2 認知症を防ぐ

体と心の健康が 発症のリスクを減らす

認知症にならないために私たちにできることは？
もし、家族が認知症かもしれないと思ったら？
蛭田保健師に予防法や対処法を聞きました。

認知症に関する相談窓口

- **村住民福祉課** ☎49-3113
保健・医療・福祉に関する総合的な相談に応じるほか、各種保健福祉サービスを利用するときの申請窓口
- **村地域包括支援センター** ☎29-1233
高齢者の権利擁護、介護・健康など、総合的に高齢者を支援する拠点施設

認知症に関する相談や診療を行っている医療機関については、「県高齢福祉課ホームページ」で確認できます。



右 ウォーキングによる認知症予防を目的とする「脳いきいき教室」。時間を計りながらウォーキングをする参加者
上 村民の店「すまいる」で開催されているサロン。地域の高齢者が集まり、民謡や語り部などを楽しんでいる



INTERVIEW



認知症キャラバン・メイト
渡辺勝次郎さん
(木之根・72)

「認知症の本人は何もかも忘れて自覚はない」というのは大きな間違いです。まず本人が「何だろう、おかしいな」と感じ始めるはず。「認知症かもしれない」「これからの人生どうなってしまうんだろう」など、本人でなければこの不安は分かりません。

認知症の方は、知的機能は衰えていきますが、感情が失われるわけではありません。「認知症ではない」と否定する気持ちになり、それを他人に指摘されれば余計にショックを受け、イライラして暴言を吐いたり、病院に行かなくなったりして症状が進んでしまいます。これらのことをあらかじめ理解し、認知症の人を安心させる必要があります。そして、一歩踏み出し、困っていることに気づいたら勇気を出して声をかける必要があります。

認知症サポーターは、できる範囲でさりげなく援助できる「人間の杖」になればいいのです。まだ認知症サポーターになっていない方は、ぜひ講習を受けて「人間の杖」になってください。

認知症の方と接するポイント

- ・尊厳を認める
- ・失敗を責めることなく、温かく見守る
- ・できることはやってもらい、できないことはさりげなく支援する
- ・何度も同じ話をするとき、初めて聞いたという気持ちで返答する
- ・記憶がさかのぼってしまったときは、ある程度、話の内容を合わせる
- ・話しかけるときは正面に行き、おだやかに話しかける

一歩踏み出すことが必要
困っていることに気づいたら
勇気を出して声をかけましょう

村は、平成18年度から小・中学生や高校生、各種団体、一般村民を対象に「認知症サポーター養成講座」を実施しています。平成25年度までの受講者は延べ1354人で、人口に占める割合は県内で比較すると高い値となっています。

受講者には、オレンジリングが渡され、認知症サポーターとして自分ができる範囲の支援を考え、実行していきます。例えば、認知症に関心を持ち続けること、友人や家族に認

知症について教える、オレンジリングを身につけるなど、何でもかまいません。一人一人ができることを考え、認知症になっても安心して生活できる地域をつくっていきましょう。

85歳以上の4人に1人が認知症の人。85歳以上の4人に1人が認知症の症状があるといわれています。認知症は特別な病気ではなく、家族や友人、自分自身、誰もが発症する可能性があります。人ごとではなく「自分の問題」として認識する必要があります。

知障害などから周囲の人とトラブルになる場合があり、介護家族が疲れてしまうことが少なくありません。しかし、周囲の人の理解と行動があれば、安心して生活することができます。周囲の人が認知症で困っている人に「何かお手伝いすることがありますか」と一声かけることで、認知症を抱える本人はもとより介護家族にも応援者がいることが伝わり、気持ちになるでしょう。

地域に増えている「認知症サポーター」認知症で困っている人に気づき声をかけるためには、認知症に関する知識があるとならないのは大きな差があります。そこで、認知症について正しく理解し、偏見を持たず認知症の方やその家族を温かく見守り、支援する「認知症サポーター」を養成する取り組みを行っています。

Step3 認知症を地域で支える

一人一人ができることを考える

もし、家族や友人、自分自身が認知症になったとき、安心して生活できる地域であるためには私たち自身の力が必要です。



上・左 鮫川中2年生を対象に実施した認知症サポーター養成講座（7月2日実施）。認知症の病態や症状についての正しい知識や認知症の方やその家族と接するときの心構えなどを学んだ。平成26年度は修明高校鮫川校生と保健推進員を対象に講座を実施する予定

ぼくたち、わたしたちも認知症サポーター 養成講座を受講しました（鮫川中学校2年）

困っていることを聞いてあげたい



ゆか
橋本侑香さん

認知症は大変なことなので、周りにいる人が助け合い、支援して協力しないといけないと思いました。私も認知症の人がいたら助けて、困っていることがあったら聞いて、一緒に少しずつやっていきたいと思います。

認知症に対する考えが変わった



かいと
鷺野谷海翔さん

適切な支援で認知症の人を助けられることや認知症をしっかりと理解することが大切だということが分かりました。講座を受けて初めて知ることが多くて、認知症に対する考えが変わりました。認知症の人を助けていきたいです。

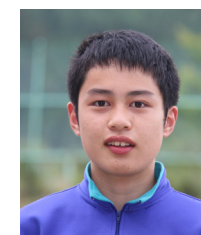
優しく接することが大切だと分かった



ななみ
山本菜々海さん

認知症の人への接し方や病気について知ることができたので良かったです。優しく接することが大切だと分かりました。認知症サポーターとして、ゆっくりと一つ一つ分かりやすく伝えられるようにしたいです。

認知症の人に分かりやすく話したい



しゅんすけ
棚井駿介さん

講座を受けて、認知症の人に優しく丁寧に教えてあげることが分かりました。今回学んだことを生かして、少しでも役に立てるように、もし認知症の人に会ったら、丁寧な言葉づかいで分かりやすく話したいと思います。

大妻女子大学グリーンツーリズム体験実習 農山村の自然や暮らしに触れる

大妻女子大学のグリーンツーリズム体験実習は9月3日から5日までの3日間、村内で行われました。

この実習は、同大学家政学部ライフデザイン学科2年生を対象とした授業で、今回は学生など13人が参加しました。初日は、齋須寛一さん(新宿)の案内で朝日山登山に挑戦。2日目には、芳賀亨さん(江竜田)の指導で大豆畑の除草作業、芳賀元治さん(江竜田)の指導で江竜田の滝遊歩道の砂利敷きを行いました。最終日は、関根のぶ子さん(余所内)から柏餅づくりを教えてもらい、作りたてを味わいました。



初めて体験することも多く戸惑った様子でしたが、地元の人たちとの交流を通して農山村の暮らしに触れました。



1. 関根のぶ子さんの指導で柏餅の生地を練る学生
2. 除草作業の説明を真剣に聞く学生たち

出張料理教室「まめで達者な料理教室」 鮫川村の「食」をアピール

出張料理教室「まめで達者な料理教室」は9月6日、東京都北区の赤羽文化センターで開催しました。

昨年引き続き2回目の開催となった教室には、区民な

ど30人が参加。村食生活改善推進員「ひまわりの会」のメンバー11人が講師を務め、村内産の農産物や豆腐・油揚げなどの大豆加工品を使った鮫川村ではおなじみの料理を和気あいあいと調理しました。参加者からは「おいしい」「食材が素晴らしい」などの声が多く聞かれ、調理方法や食材など村の「食」に感心し、興味を示していました。

また、今回の参加者の中には、6月に開催した「農村体験ホタルツアー」や昨年の出張料理教室参加者の姿が見られ、鮫川村のファンが着実に増えていることをうかがわれました。

1. 「ひまわりの会」メンバーの指導で調理する参加者
2. 野菜と豆腐の肉巻き
3. 五目おこわ



東京大学地域経済フィールドワーク実習 農家の声を学生たちが聞く

1. 農家に聞き取り調査をする学生たち
2. 熱心にメモを取る学生



東京大学農学部地域経済フィールドワーク実習は9月1日から4日までの4日間、村内で行われました。

フィールドワークの手法を実践形式で学ぶことを目的に

毎年実施され、鮫川村で実習が行われるのは今回が初めてとなりました。

実習には、学生など19人が参加。初日は、農産物加工・直売所「手・まめ・館」や学校給食センターなどの施設を見学し、村づくりなどについて理解を深めました。2日以降は、実際に村内農家を訪問し、生徒たちが興味を持った内容について聞き取り調査を行い、データや資料を集めました。

参加した学生たちは農家とふれあうことで、さらに村に興味を持った様子で「また鮫川村に来ます」と口にする姿が見られました。

東京農業大学短期大学部緑地工学実習 鮫川村の自然を生かして緑地工学を学ぶ

東京農業大学短期大学部環境緑地学科の緑地工学実習は9月7日から13日までの7日間、村内で行われました。

実習には、学生34人が2班に分かれて参加。1班は、農村交流施設「山王の里」の竹垣、木柵作りや江竜田地内でヒノキの間伐作業を行いました。2班は、館山公園の園路や階段を整備したほか、もりづくり100年委員会と一緒に公園内の手入れをしました。学生の皆さんは暑い日差しの中、汗をかきながら緑地工学を学びました。また、実習3日目の夕食は地元の人たちと一緒にバーベキューを行い、交流を深めました。



シュロ縄で木柵を作っている学生

実習で新たな発見ができたり身についたこともあったし、ヒノキの間伐をしてとても良い経験になりました。鮫川村に来たのは2回目、最初に来たときは冬で、そのときは違う鮫川村が見られました。あと、鮫川村は食べ物がとてもおいしいです。



環境緑地学科2年
みやさか あんず
宮坂 杏さん

村は都市住民や大学との交流を積極的に行い、都市住民に村の魅力や魅力を伝え、広く発信するほか「よそ者」の目を通して村の魅力を再発見し、さらなる魅力アップに取り組んでいます。

この記事は職場体験で広報紙作りに挑戦した鮫川中2年の藤田菜月さんと矢吹瑞樹さんが取材し、編集しました。(文：藤田菜月 写真：藤田菜月、矢吹瑞樹)

水痘ワクチンが定期予防接種化します

すいとう

村は、予防接種法に基づき平成26年10月1日から水痘ワクチンの定期予防接種を行います。対象のお子さんがいる保護者の方は、役場住民福祉課健康係で予診表を受け取り、各医療機関で接種してください。

対象者・接種回数 ①生後12カ月（1歳）～36カ月（3歳）・2回接種 ②生後36カ月（3

歳）～生後60カ月（5歳）・1回接種

接種方法 初回接種から3カ月以上の間隔をおいて2回目接種 ※生後36カ月（3歳）から生後60カ月（5歳）までのお子さんは、1回接種のみです。ただし、予防接種として受けられるのは平成26年度限りとなります。

医療機関 県内医療機関 その他 ▼すでに水痘（水ぼうそう）にかかった方は、接種対象外となります。▼任意接種として水痘ワクチンを接種した方は、すでに接種した回数分の接種を受けたとみなされます。

問い合わせ 村住民福祉課健康係 ☎49・3112

第20回福島県知事選挙は10月26日(日)

私たちの声を県政に反映させる大切な選挙です。棄権しないで投票しましょう。

投・開票日 10月26日(日)

投票できる人 平成6年10月27日までに生まれた方または平成26年7月8日までに転入して選挙人名簿に登録されている方

投票時間 午前7時～午後7時

【期日前投票】

次の要件で投票日に投票所に行けない方または行けないと見込まれる方は、投票日前に投票ができます。▶投票日当日に仕事や冠婚葬祭などで投票に行けないとき▶レジャーや買い物などの私用で投票日に投票に行けないとき▶投票日当日に出産、手術などにより歩行困難であると見込まれるとき▶引越により他の市町村に住んでいると見込まれるとき
期間 10月10日(金)～25日(土) 午前8時30分～午後8時

期日前投票所 村役場村民ホール

その他 足が不自由な方で車いすなどを利用している方は、期日前投票をお勧めします。また、期日前投票所には診療所で行っている送迎バスを利用することができます。運行日は月曜日（地域指定なし）、火曜日（西野・西山・富田方面）、水曜日（中野・東野方面）、木曜日（青生野方面）です。利用する場合は、必ず村診療所（☎49-2028）に電話で予約してください。

■問い合わせ 村選挙管理委員会 ☎49-3111

軽自動車税が変わります

平成26年度の税制改正にともない平成27年4月1日から軽自動車税が変更となり、平成27年4月1日以降に新規登録された車両について新税率が適用されます。（表1②・表2②参照）

【税額の据え置き特例措置】 平成27年3月31日までに登録された車両は現行の税率が適用

されます。（表1①・表2①参照）**【経年車への重課税】** 自動車が増減に与える影響を考慮し、新規登録から13年以上経過した軽自動車に普通自動車と同等の重課税が適用されます（表1③参照）。

■問い合わせ 村総務課税務係 ☎49・3111

【表1】四輪以上および三輪の軽自動車

車種区分		① 平成27年3月31日までに新規登録した車両（現行の税率）	② 平成27年4月1日以降に新規登録した車両	③ 新規登録から13年以上経過した車両（重課税）
乗用	自家用	7,200円	10,800円	12,900円
	営業用	5,500円	6,900円	8,200円
貨物用	自家用	4,000円	5,000円	6,000円
	営業用	3,000円	3,800円	4,500円
軽三輪		3,100円	3,900円	4,600円

【表2】原動機付自転車および二輪車など

車種区分		①現行	②新税率
原動機付自転車	50cc以下	1,000円	2,000円
	二輪で50cc超90cc以下	1,200円	2,000円
	二輪で90cc超125cc以下	1,600円	2,400円
	ミニカー	2,500円	3,700円
軽自動車	二輪で125cc超250cc以下	2,400円	3,600円
	その他で660cc以下	2,400円	3,600円
小型特殊自動車	農耕作業用自動車	1,600円	2,000円
	その他	4,700円	5,900円
二輪の小型自動車で総排気量250cc超		4,000円	6,000円

農産物等放射性物質測定結果

村内で栽培・採取された農産物等の放射性セシウム測定結果を公表します。結果はあくまでも参考値ですので、目安としてください。

また、村では現在も放射性物質の検査を受け付けています。ぜひ、ご利用ください。

【注釈】
①放射性セシウムは134と137の合算値です。
②検出限界値未満を「不検出」と表示しています。
③空欄は測定実績がありませんでした。
④同じ地区で複数ある場合は、最小値と最大値を表示しています。

■問い合わせ 村農林課 ☎49-3114

8月18日～9月12日検査

検査試料	赤坂西野	西山	赤坂中野	東石	富田	渡瀬	青生野
ナス	不検出		不検出			31	
カボチャ	不検出			不検出 ～26		不検出	
ピーマン	不検出						不検出
サツマイモ	不検出	不検出					
キュウリ	不検出	不検出		不検出		不検出	
ジャガイモ	不検出		不検出	不検出 ～18		不検出	
ミョウガ	不検出	不検出	不検出	不検出 ～12	不検出	12	不検出
オクラ		21					13～34
スイカ	不検出			不検出			
インゲン				9	16	15	
クリ				不検出 ～15			
ブドウ						不検出	
モモ						不検出	
イノシシ肉						21	49～265

■施設周辺の空間線量（9月19日実施） [μSv/h]

モニタリングポスト測定値	測定箇所	測定値	仮設焼却炉周辺の測定値	測定箇所	測定値
	仮設焼却炉入口	0.11		施設東側120m	0.11
				施設南側120m	0.14
	青生野小学校	0.10		施設西側120m	0.13
	朝日山登山道入口	0.10		施設北側120m	0.17
				仮置場看板付近	0.08
	青生野肥育組合	0.13		石久保線起点	0.13
				石久保線終点	0.10
	鹿角平観光牧場	0.08		和協管理棟付近	0.12

村仮設焼却炉監視委員会では、毎週金曜日に仮設焼却施設周辺の空間線量を測定しています。なお、仮設焼却施設周辺の空間線量測定結果と関連ファイルについては、村および環境省のホームページで公表しています。

■問い合わせ 村地域整備課環境係 ☎49・3119

仮設焼却施設周辺空間線量の測定結果

縁DO LIFE

エン・ドゥ・ライフ Vol.6

～笑顔を力に～

緑のふるさと協力隊
遠藤敬介さんの鮫川村体験記



1. 「若葉のふるさと協力隊」の参加者とお世話になった皆さんと一緒に記念撮影
2. 関根のぶ子さん（余所内）にみその仕込みを教えてもらいました
3. 自宅の隣の畑を借りて野菜を作っています。トウモロコシが良く育ちました
4. 全国の仲間と情報交換をした緑のふるさと協力隊中間研修



村の一番の魅力は地域の人たちの温かさ 感謝を忘れず、貢献できる方法を考える

こんにちは。緑のふるさと協力隊の遠藤敬介です。私が鮫川村に来てもう半年が経過しました。この半年だけではないか濃いい日々を過ごしてきたのではないかと思います。さて、これから鮫川村での後半が始まるわけですが、その前に東京で緑のふるさと協力隊の同期が集まり、中間研修が行われました。全員各派遣先でさまざまな活動をしてきたので面白い話を聞くことができました。鮫川村は4000人弱の人口ですが、中には人口200人程の派遣先もありました。場所に

よって問題もさまざまですが、共通しているのは人口減少です。今は若い人が都会に集まり、農山村がだんだんと消滅していきます。そこで課題となってくるのが、いかにして若い人を呼び寄せられるかということです。そのためには、まず農山村をグ

リーンツーリズムなどで知っていただき、興味をもってもらってから始まります。インターネットのみならず、現地で活動してこそ感じられる魅力があるはずです。

8月27日から4泊5日で「若葉のふるさと協力隊」という短期の農村体験を受け入れました。参加者は全員若くて、ほとんど都会育ちでしたので、ギャップに驚いていました。食べる量、農作業、虫の多さなど、数え切れなかったと思います。ハードで大変そうでしたが、それでも鮫川村をこの5日間で故郷のように感じられたと言っていました。私も鮫川村の魅力は、食、水、星空などいろいろ挙げられますが、一番の魅力は地域の方々の温かさだと思います。この半年で私は助けられてばかりで貢献できていることは少ないと思います。緑のふるさと協力隊としてこれからは、感謝の気持ち忘れずに、自分は何で貢献できるのだろうと考えながら活動していきたいです。

「広報の記事をいつも楽しみにしているよ」との声をいただき、とてもうれしかったです。これからも頑張りますので、よろしく願います。

少林寺拳法福島鮫川道院拳友会 全日本少年少女武道錬成大会で2組が優秀賞に輝く



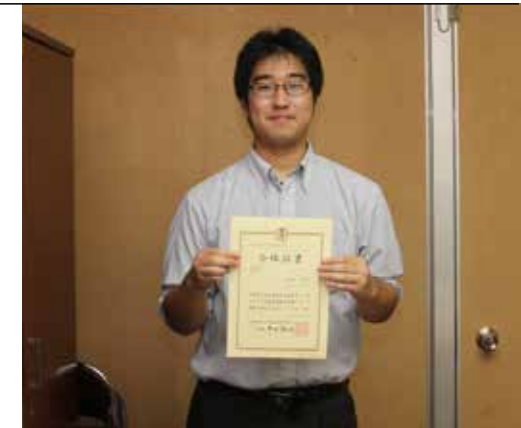
左から圓井さん、塩田さん、藤田さん、高木さん

8月9日に日本武道館で行われた「全日本少年少女武道錬成大会」で少林寺拳法福島鮫川道院拳友会の圓井空志さん・塩田和也さんの組が中学生段外の部、高木利緒さん・藤田拓朗さんの組が少年6級の部で、それぞれ優秀賞に輝きました。「緊張したけど蹴りや気合いが良くできた」「まだまだ改善点がある」「金メダルを取れたので普段の生活もしっかりしたい」など、大会を振り返ったあと、今後の目標を話しました。

修明高校鮫川校3年・岡部孝司さん 危険物取扱者試験乙種全類合格

修明高校鮫川校3年の岡部孝司さん（大竹）は、昨年度から危険物取扱者試験を受験し、今年6月に実施された試験で乙種1類から6類までの全類に合格しました。普通科に通う生徒が取得することは珍しく、同校では初めてのことです。

現在、岡部さんは県内で製造業への就職を希望し、就職活動に励んでいます。「今回の資格取得を一つの武器として、就職活動に生かしたい」と話してくれました。



ワープロと漢字能力検定の試験にも合格した岡部さん

修明高校鮫川校軟式野球部 全国高等学校軟式野球選手権南東北大会に出場



野球部員と助っ人として新人戦に参加した卓球部員

修明高校鮫川校の軟式野球部は8月2日・3日に開催された「全国高等学校軟式野球選手権南東北大会」に福島県第2代表として出場しました。大会では、前年度覇者の羽黒高校と対戦し、7回コールド負けという結果でしたが、少ない人数ながらも声と気持ちを出して健闘しました。また、同大会で3年生が引退し、新人チームは6人と野球をするにも厳しい環境ではありますが、1勝を目指して日々の練習に励んでいます。

さまざまな分野で頑張る姿をご紹介
子どもたちの活躍が止まらない

村出身画家の作品を展示 齋須由美子さん(京都市)から村へ寄贈

本村出身で京都市在住の齋須由美子さんから村に絵画が寄贈されました。この絵画は、本村出身の画家・鈴木春栄氏の作品で、社団法人新興美術院が主催する「第21回新興展」に出展され、その後、棚倉町にある料亭に飾られていました。この度、同店が取り壊されることをきっかけに本村と縁があることから「村で活用していただきたい」と寄贈の申し入れがありました。

村では、ありがたいご厚意に感謝し、役場庁舎2階のエレベーター前に展示しています。来庁の際には、ぜひご覧ください。



寄贈された絵画

むし歯のない子は4人 8月21日実施の3歳児健診

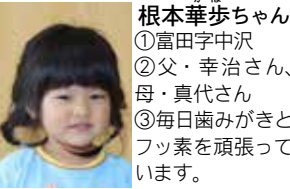
8月21日に村保健センターで実施した3歳児健診で、むし歯のなかったお子さんは、受診児7人中4人でした。



鈴木美桜ちゃん
①西山字鐘撞堂
②父・大輔さん、母・愛子さん
③嫌でも毎日歯みがきを頑張りました。



黒田奈花ちゃん
①西山字水口
②父・実大さん、母・美保さん
③甘い物が大好きですが、歯みがきも嫌がらずにやっています。



根本華歩ちゃん
①富田字中沢
②父・幸治さん、母・真代さん
③毎日歯みがきとフッ素を頑張っています。



石井珀久竜くん
①赤坂東野字木戸沢②父・康一さん、母・美香さん
③眠くても毎日の夜の歯みがきをお姉ちゃんと一緒に頑張りました。

①住所 ②保護者 ③むし歯にならないために頑張ったこと

日頃のご協力に感謝 鮫川たんぼの家感謝祭



ダンスを披露する利用者

「第5回鮫川たんぼの家感謝祭」は9月6日、同施設で行われ、多くの来場者でにぎわいました。会場では、同施設で製造している商品を販売したほか、餅つきパフォーマンスや和太鼓演奏、踊りなどが次々と披露され、来場者を楽しませました。

渡瀬Cチームが熱戦制す 村長杯争奪ゲートボール大会



ゲートめがけて球を打つ選手

「第8回鮫川村長杯争奪ゲートボール大会」は9月18日、さざり荘ゲートボール場で開かれました。大会には、12チームが出場。予選リーグ戦、決勝トーナメントを戦い、渡瀬Cチームが優勝しました。

▶結果①渡瀬C②西野A③東野A④渡瀬A

広報紙づくりに挑戦 鮫川中2年生が職場体験



シャッターを切る生徒

鮫川中2年生の「職場体験」は9月9日・10日、村内8カ所の事業所などで行われ、職業への理解を深めました。役場では4人の生徒を受け入れ、矢吹瑞樹さんと藤田菜月さんが広報の仕事を経験しました。2人が取材した記事は8・18日に掲載しています。

強豪三春町チームに惜敗 第8回福島県市町村対抗軟式野球大会



熱戦を繰り広げた選手たち

市町村対抗軟式野球大会に出場した鮫川村チームは9月21日、県営あづま球場で行われた1回戦で三春町と対戦しました。序盤にリードを許しましたが、最終回に1点を奪取。結果は1対2と惜しくも敗れてしまいましたが、粘り強いプレーを見せました。

プロ奏者の音色に酔いしれる Nobyトランペットコンサート



力強い演奏を披露したコンサート

トランペット奏者・Nobyのトランペットコンサートは8月30日、村公民館で行われました。本村での演奏は3回目。村内外から約40人が訪れ、ジャズやポップス、演歌などさまざまな名曲が披露されました。来場者はプロ奏者の音色に酔いしれていました。

村政TOPICS

秋の全国交通安全運動期間に先立ち9月19日、村交通安全対策協議会と交通安全協会鮫川支部主催の「交通安全鼓笛パレード」が行われました。

村内の交通安全関係団体のメンバーが参加し、横断幕を先頭に青生野小と鮫川小の児童鼓笛隊の演奏に合わせ、沿道の村民に交通安全を呼びかけました。

また、鼓笛パレード終了後には、「交通安全テント村」が宿ノ入交差点と中野町地内の国道289号沿いで行われ、通行するドライバーにチラシなどを配り、安全運転を呼びかけました。



息の合った演奏をする児童鼓笛隊

鼓笛パレードなどで交通安全呼びかける

は楽しいひとときを過ごしました。

敬老会終了後には、アトラクションが行われ、村内7地区の高齢者支援団体とふるさと芸能クラブが歌や踊りなどを披露し、参加者は楽しいひとときを過ごしました。

敬老会では、大楽村長が「幾多の困難を乗り越え、地域振興に尽力いただいたことに感謝と敬意を表します」とあいさつし、米寿80歳到達者、金婚夫婦に記念品を贈呈。来賓祝辞のあと、子どもたちが高齢者へ感謝する作文を発表しました。



80歳到達者へ記念品贈呈

村敬老会を開催
776人の長寿祝う

村政TOPICS



やぶき・こういち ●平成3年9月生まれ。赤坂西野字大塩在住。ヤブキ設備（大塩）勤務。趣味は釣り。よく寝ることを心掛けている

私は、高校を卒業してから実家でやっている水道設備の仕事を継ぎ、日々、勉強の生活を送っています。

なぜ、タイトルを「5年目」にしたかというと、私が鯨川村の行事や商工会青年部、消防団などの活動に参加させていただくようになり、鯨川村に大きく関わりをもつようになって5年目を迎えたからです。

卒業するまでは、あまり鯨川村の行事などに参加せず、住んでいるが鯨川村について良く考えたことがありませんでした。しかし、商工会青年部や消防団など、数々の行事に参加し、その活動を通して鯨川村について5年ではあります、少しずつ考えるようになり

村民【随想】リレー — (195)

矢吹晃一さん 5年目

ました。微力でも地域の役に立てればと思っています。
これからは商工会青年部や消防団などの活動を通して数多くのことを学び、鯨川村に貢献していければと考えています。
そして、いろいろな活動を通して学んだことを仕事や私生活などにも生かしていければいいなと思っています。

今回、このような文章を書かせていただいたて、ありがとうございます。ただ、文章を書くことが得意ではないので、不備があったら申し訳ありません。

■ 次は、金澤諒さん（渡瀬字福原）にバトンタッチ！

さががわを
彩る集い 31

球を打った分だけ上達するスポーツ



鯨川卓球クラブ

代表 古館勝人／会員16名

今年6月に活動をはじめたばかりの「鯨川卓球クラブ」は、水曜日と土曜日の週2回、農業者トレーニングセンターで練習を行っています。

健康づくりと技術向上を目的に酒飲み友達が集まって団体をつくることになりましたが、現在は主に中学生が参加して汗を流しています。「スマッシュやサーブなどが決まったときは気持ち良いです」「ラリーが続くと楽しいです」など、楽しみながら教わっています。

また、「二見、楽そうに見えるけどきついです」と話す通り、「動きが早くて激しいので、ボールのスピードについていくのが大変です」という声が聞かれました。しかし、個人競技なので球を打った分だけ上達するといえます。活動をはじめた約4カ月、少しずつですが上達しているそうです。

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します
鯨川村図書館 ☎ 29-1150

モネ 庭とレシピ (林綾野著、講談社)



19世紀、フランスの印象派画家モネは、庭造りと食事を愛した画家です。広大な庭を丹精し、自作のレシピで家族や友人

をもてなしたモネ。こだわりの巨匠のあまりに完璧な終の棲家！お気に入りの料理を再現、レシピ21点を掲載しています。

人生はニヤンとかなる！ (水野敬也・長沼直樹著、文響社)



かわいい猫の写真とその写真にマッチしたキャッチコピー、さらに272個の偉人の逸話・格言で人生の大切な教えが学べる新しい

タイプの本です。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

俳句

幼な日のかくれんぼーや蝉しぐれ 中井 恒峯
マメシンクイの大発生に悩まされ 北條素人坂
原爆の語り継ぐは九十の老 松本 精一
願ひ込めとげぬき地蔵の肩拭う 前田 縫子
轉りに姿求める木の繁み 黒田 寿香
菅生の里守る人らの踊りの輪 齋須 信子
おじぎして誰か待つよな秋海棠 鈴木 米子
新聞の折込み広告秋の旅 山本 恵子
作句とは蟬螂の斧邯鄲の夢 土 竜庵
戦場を駆けさす勿れこの球児 山本五十鈴
たおやかに咲いては匂うクリスマスマ スローズの花に心癒さる 鈴木イミ子
地上なるパラダイスに逢う旅行とは人をも磨く光に満ちて 佐藤 春枝
今年も頑張るのポーズ 矢吹 定子
趣味という境を越えて手入れする 花の名さえも知らぬが儘に 須藤 幸子
畑より確かな健康頂いて生きる幸せも 汗の賜物 水野 珠子
いずれ亦逢う日もあらんと遙かなる礼文島の知人に思う 関根 瑞恵

言葉なく風情もないが畑土はわれを待ちおり緑の季節 溝井 清乃
何くれと世話してくれし本家なる 義姉の心の映る彼岸花 坂本 伊紀
抑止力無くば戦争は防げぬと議論す友の辺り耀う 一 平子
台風に見舞われ荒れし墓参り亡夫に報告無事なる今を 石井 幸子
吹き荒ぶ風に打たれし朝顔の負けじとばかりにバツと咲きいる 須藤シツエ
愛犬のマリヤは凄く賢くて小さいなれど存在感あり 前田喜三子
見分けする曾孫の顔を見るたびに閉ざされ勝な心あかるむ 関根ヨネ子
盆過ぎし朝餉の窓に陽の差す位置の日毎移ろう秋はもうすぐ 藤田千代子
移り行く季節を払う風荒れて雨音激しき夏の夜なり 関根ハナヨ
濡れ光る墓石に添える菊の花夫の笑顔の顔ちいるような 関根 富久
異常なる記録の連続吾が国土神風なりしか復興他所に 板橋 源良
野の花を飾りてつくる盆棚にあな たを迎える四度目の夏 関根キヌ子
列島の異常気象の被災地にお見舞い冥福ただ祈るのみ 矢吹 一二
百五十八命名されたる小島群日本の国土に凜と輝け 北條 平

若者の広場 No.118

Young Plaza

■今、夢中になっていることは何ですか？

3カ月前に飼いはじめた愛犬に夢中です。毎朝5時に起きて散歩するのが日課です。仕事の疲れも癒されます。

■これからチャレンジしてみたいことは何ですか？

愛犬をドッグランに連れて行きたいと思っています。ほかの犬と一緒にのびのびと遊ばせたいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

鮫川村はのどかで静かなところがいいと思います。あとは、生まれ育っている

場所なので落ち着きます。ただ、何をするにしても村外に出ないといけないうので少し不便です。

■鮫川村に要望などはありますか？

スーパーなどがあれば買い物のために村外に出なくて済むので、いいと思います。運転ができないお年寄りには不便なんじゃないかと思ひます。あとは、村内に会社が増えれば村外の会社に勤めなくていいので、地元に残る若い人たちが増えると思います。

次は小林大起さん（赤坂東野字山口在住）の予定です。

生まれ育った場所だから落ち着く

芳賀大輔さん



はが・だいすけ
平成4年9月19日生まれ 22歳
O型 おとめ座
趣味はスノーボードとゴルフ
西山字摺合在住

響け！心のハーモニー

学校だより

(120)

青生野小学校編

「第68回福島県小中学校音楽祭東白川地区大会」が8月20日に棚倉町文化センターで行われました。今年度の発表曲は「Best Friend」。友達思いで優しい青生野の子どもたちにはぴったりの曲です。



当日は、緊張しながらも練習の成果を発揮し、透明感のある美しい歌声を披露しました。審査員からは「一人一人がしっかりと歌っていて、声の響きも素晴らしく、12人とは思えないほどだった」というお褒めの言葉をいただきました。保護者の皆さんも「聴いていて涙が出そうだった」と感激した様子でした。

自分たちの歌声が皆さんから高く評価されたことで、子どもたちは「何事も本気でやれ

(文・写真／青生野小学校)



8月17日、夏休み恒例の親子活動を行いました。今年は、魚のつかみ取り体験や水遊び、スイカ割りなどをして楽しい一日を過ごしました。初めは水の冷たさに体がこわばっている子や魚の感触に悲鳴を上げている子がいましたが、最後には素手で魚をわしづかみにしていました。取った魚は、お父さんやお母さんの手ほどきを受けながら、自分たちで水洗いをして、はらわたを取ったり、串に刺したりしてから、炭火でじっくり焼きました。焼きたての魚は新鮮で香ばしく、子どもたちはおいしそうに頬張っていました。

親子でふれあいながら過ごした一日はきっと子どもたちの心にすてきな思い出として残ったことでしょう。



このページは
私たちが作りました

(文：矢吹瑞樹 写真：藤田菜月)

旅行に行くたびに趣味の一つであるカメラで写真を撮りその写真をアクリル画として描いています。

趣味
味のひとつとして空いた時間にアクリル画を楽しむ高木正則さん。公民館事業のアクリル画教室をきっかけに13年間絵を描き続けているといいます。また、愛好会を結成し、多くの人にアクリル画を広めています。正則さんは、友人に絵をプレゼントすることもあり、たくさんの人を喜ばせています。

アクリル画は、写真で見たものをそのまま描く必要はなく、自分のイメージを取り入れて自由に描けるといいます。何度も絵の具を重ねたり多くの技法を取り入れ、絵を完成させていきます。絵を描き終わるのには、長い時間がかかり、「いっぺんに描けないので大変だ」と話してくれました。

また、各地の美術館に行き、いろんな画家の絵を見て、構図や筆の使い方を学んでいるそうです。また、友人などに絵を見てもらいアドバイスをもらうことも上達する一つのポイントだといいます。「好きだからこそ続けてこられた。やる気と根気で書き続けることに意味がある」と誇らしげに話しました。



あなたの 光る技

キラり Vol.27

アクリル画

高木正則さん

たかぎ・まさのり／赤坂中野字新宿／77歳

好きだからこそ続けてこられた 仲間のアドバイスが上達のポイント



多くの筆を使いこなし、いくつもの絵を描いている正則さん。

20

お誕生

8月届け出分・敬称略



中川西 鈴那・女
平 26. 7. 28 生
住所…中内
保護者…健太・香央里



泉田 花撫・女
平 26. 7. 28 生
住所…中
保護者…陽・小百合



須藤 壮琉・男
平 26. 8. 6 生
住所…名下
保護者…清二・知映



大森 心陽・女
平 26. 8. 13 生
住所…余所内
保護者…秀行・春美

おくやみ

8月届け出分・敬称略

住 所 氏 名 月 日 年 齢

田 中 市川 フミ 8. 9 89歳

追 木 水野 福榮 8. 25 80歳

人の動き		
9/1 現在・（ ）は前月比		
人口	3,852 人	(－ 3)
男	1,949 人	(－ 3)
女	1,903 人	(± 0)
世帯	1,162 戸	(－ 3)

寄付
寄贈

8月受理分・敬称略

■社会福祉事業のために[金員]…増子信男(田中) 水野勉(追木)

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

編/集/後/記

■ 2 日間広報紙作りをやって、インタビューに行ったり実際に記事を書いたりとても忙しい2日間でした。しかし、インタビューに行って鮫川村民の温かさを改めて感じました。協力して下さった方、ありがとうございました。(鮫川中2年・矢吹瑞樹)

■いつも楽しみにしている鮫川村の広報紙の裏では取材やインタビューなどでとても忙しく、前田さんはこのような事を一人でやっていたことに驚きました。私は今回の職場体験で仕事の大変さを感じました。(鮫川中2年・藤田菜月)

■「認知症サポーター養成講座」を取材した際、初めて知ることが多く衝撃を受けたことがきっかけで今回の特集を組みました。皆さんが関心を持ち、理解を深める機会になればと思います。また、編集にあたっては、難しい問題に関わらず「専門家や周囲の人と情報交換をして協力を得ることの大切さを伝えられれば」と蛭田一雄さんが快く取材を受けてくださいました。ご協力に深く感謝いたします。(前田)

23

暮らしのカレンダー

日	月
5 ⑤ 東館診療所(矢祭町) ☎46-3165 ●親子読書教室…10:00～[図]	6 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
第1日曜日は環境美化の日	
12 ⑤ つちやクリニック(塙町) ☎43-2250	13 体育の日 ⑤ 東白川中央医院(棚倉町) ☎33-3263 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
19 ⑤ おおひら整形外科クリニック(棚倉町) ☎33-9468 ●第27回高原の鮫川うまいもの祭り	20 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●心配ごと相談…13:00～15:00[公] ●3～4カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院
26 ⑤ 塙厚生病院(塙町) ☎43-1145 ●さめっ子フェスティバル／鮫川小 ●学習発表会／青生野小 ●県知事選挙投票日	27 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
2 ⑤ 木村医院(矢祭町) ☎46-3528	3 文化の日 ⑤ あらまちクリニック(棚倉町) ☎33-8018 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●第19回村少年主張大会、第12回音楽発表会…9:00～[公]
第1日曜日は環境美化の日	

⑤＝休日当番医 [公]＝公民館 [図]＝図書館 [保]＝保健センター
[ト]＝農業者トレーニングセンター [こ]＝こどもセンター

火	水	木	金	土
	10/1 ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●「手・まめ・館」定休日 ●やまぶきの会…10:00～15:00[保]	2 ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●「すまいる」定休日	3 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	4
7 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面) ●乳がん検診(マンモグラフィのみ実施)…9:00～10:00、13:00～13:30 受付[保]	8 ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●おはなしの森…16:00～[図]	9 ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●やまゆり保育室[こ] ●県知事選挙告示日	10 ●乳がん検診…9:00～10:00、13:00～13:30 受付[保]	11
14 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	15 ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●やまゆり乳児室[こ]	16 ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	17 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	18
21 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面) ●子宮頸がん・骨粗鬆症検診(21 ㊟参照)	22 ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●献血(20 ㊟参照)	23 ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	24	25 ●壇の岡祭／鮫川中
28 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	29 ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●やまぶきの会…10:00～15:00[保]	30 ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	31 ●村民税などの納期限	11/1
4 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面)	5 ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●「手・まめ・館」定休日 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	6 ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●「すまいる」定休日 ●やまゆり保育室[こ] ●子宮頸がん・骨粗鬆症検診(21 ㊟参照)	7 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	8

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

22

情報BOX

PLUS

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ!

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み

Episode_13

矢吹堅壽さん カヲルさん

赤坂西野字官沢／昭和36年4月結婚

50 年は忙しくてあっという間だったと振り返る矢吹さん夫妻。結婚して間もなく、堅壽さんは郵便局に勤め、カヲルさんは家事、子育て、農業をこなしていました。「あまり子どもにかまってやれなかった。よく育ったもんだ」と笑いました。

結婚生活の思い出は、1泊2日の

沖縄旅行。史跡巡りなどを満喫した帰りの飛行機で、強風のために空港に着陸できないというハプニングが起こり、印象深かったといいます。

現在は、クロリティーに参加することが楽しみとなっています。また、「久しぶりに2人でゴルフにも行きましょう」と顔を見合わせてほほ笑みました。

こちら 村長室

▼震災から3年半、「フクシマの悲劇」を「フクシマの奇跡」にするために

という福島県立医科大学・菊地臣一学長のお話です。▼地震災害直後に原発事故がふりかかりました。このままでしたら総崩れになると思ったそうです。大学病院が引き上げたらハブ（中心）がなくなり、配電盤の機能が失われてしまう。ここが最後の砦だ。ここから逃げ出すわけにはいかない」と腹をくくったといいます。総崩れというのは県民の人心不安です。放射能の健康被害を分かりやすく、きちんと説明できる人が日本にはほとんどいません。そこで専門の先生に来ていただき、それから毎日、職員や県民をはじめ、あらゆる所に説明に回ったから今があるといえます。▼福島県民自らが立ち上がり、前向きな姿勢を見せなければならぬでしょう。原発の廃炉作業もやらずにはいけません。でもその確かなノウハウはどことも持っていません。次世代の若者を福島マの奇跡は起こりません。頑張ってください。

大樂勝弘